【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成17年7月7日(2005.7.7)

【公開番号】特開2003-143613(P2003-143613A)
【公開日】平成15年5月16日(2003.5.16)
【出願番号】特願2001-337951(P2001-337951)
【国際特許分類第７版】
　Ｈ０４Ｎ　 9/07
　Ｇ０２Ｂ　 5/30
　Ｇ０３Ｂ　11/00
【ＦＩ】
　Ｈ０４Ｎ　 9/07　　Ａ
　Ｇ０２Ｂ　 5/30
　Ｇ０３Ｂ　11/00

【手続補正書】
【提出日】平成16年11月2日(2004.11.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　複数種類の色フィルタが水平垂直共に等ピッチで配列された撮像素子と、
前記撮像素子に入射する被写体光に対する除去帯域が互いに４５°の角度をなす二枚の複屈折性光学素子を組み合わせた光学ローパスフィルタとを有することを特徴とする撮像装置。
【請求項２】
　前記撮像素子より出力された信号の水平方向の高周波部分の偽色を低減する偽色低減回路を有し、
前記光学ローパスフィルタは、除去帯域が画素の水平配列に対してそれぞれ２２．５°の角度をなし、かつ互いに４５°の角度をなす二枚の複屈折性光学素子を組み合わせた構成であることを特徴とする請求項１記載の撮像装置。
【請求項３】
　前記撮像素子より出力された信号の垂直方向の高周波部分の偽色を低減する偽色低減回路を有し、
前記光学ローパスフィルタは、除去帯域が画素の垂直配列に対してそれぞれ２２．５°の角度をなし、かつ互いに４５°の角度をなす二枚の複屈折性光学素子を組み合わせた構成であることを特徴とする請求項１記載の撮像装置。
【請求項４】
　複数種類の色フィルタが水平垂直共に等ピッチで配列された撮像素子と、
前記撮像素子に入射する被写体光に対して二枚の複屈折性光学素子を組み合わせた光学ローパスフィルタと、
当該光学ローパスフィルタを通過した被写体光に応じて、前記撮像素子より出力された信号の高周波部分の偽色を低減する偽色低減回路とを有することを特徴とする撮像装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２４

【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２４】
【課題を解決するための手段】
このため、本発明においては、下記の各項（１）～（４）のいずれかに示す撮像装置を提供することにより、前記目的を達成しようとするものである。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２７】
（３）前記撮像素子より出力された信号の垂直方向の高周波部分の偽色を低減する偽色低減回路を有し、前記光学ローパスフィルタは、除去帯域が画素の垂直配列に対してそれぞれ２２．５°の角度をなし、かつ互いに４５°の角度をなす二枚の複屈折性光学素子を組み合わせた構成であることを特徴とする前記（１）項記載の撮像装置。
（４）複数種類の色フィルタが水平垂直共に等ピッチで配列された撮像素子と、前記撮像素子に入射する被写体光に対して二枚の複屈折性光学素子を組み合わせた光学ローパスフィルタと、当該光学ローパスフィルタを通過した被写体光に応じて、前記撮像素子より出力された信号の高周波部分の偽色を低減する偽色低減回路とを有することを特徴とする撮像装置。